

いっぱんしつもん

消防団ポンプ積載車について

自由民政クラブ 新井 豪

問 合計1億3千万円かけて21台の積載車の入替が行われたが、一部では坂道を走行する際のパワー不足が指摘されている。今後約40台の入替が予定されているが、それらがより改善される為に、また、万が一不具合等があった場合の原因究明の為に、市として「下請業者」まで把握する必要があると思うが、それは可能か。

答 他市の状況を研究し検討する。



入替されたポンプ付積載車

●「学校裏サイト」について

問 いじめの温床となっている

「学校裏サイト」の数は、政府の調査によると、想像以上に多く存在し、内容は深刻である。その存在について市の見解と対策は。

答 交流を深める場としての一面もあるが、ネットいじめが原因で自殺に迫込まれている子供達がいる事実を踏まえると「学校裏サイト」の存在は望ましくないと考える。管理・運営者が特定される場合はサイト削除を働きかけていく。

●市長所有会社の所得隠しについて

問 市民の税金を預かる市長、自らが創設しオーナーを務める会社が「所得隠し」を行い、7年間も「適正に税金を納めていなかった」という事実に対して、適正に納税して頂いている市民の皆様は謝罪する気持ちはないのか。

答 他議員の質問に答えた通り。(道義的責任も無いから謝罪するつもりも無い。)

◎市街地に設置されている防犯カメラについて

◎市立図書館の利用時間について

◎本町・中町通街路整備事業の進捗状況について

遊休農地の活用策について

自由民政クラブ 金田 安生

問 日本の食料自給率は39%と低水準。国も自給率向上に力を入れようとしている。秩父市内の遊休農地と遊休土地の実情と対策は。

答 8月以降に国の実態調査が行われるので、その結果と国の方向を確認し対応したい。また、遊休土地は雑草繁茂などで周辺住民からの苦情もある。都度対応する。

●天然記念物の保護について

問 市の指定した天然記念物は何種類か。保全対策は。また、2006年に外来生物法に指定されたオオキンケイギクの駆除対策については。

答 県と市の指定数は33種類である。所有者に管理委託し保護している。オオキンケイギクは根張りが良く、指定前には傾斜地の工事では着土対策に多用された。今後は除去の対策を講じたい。

●公共下水道について

問 設備が合流式と分流式の併用であり、合流式地区の汚水は雨水と一緒にオーバーフロー分が河川に直接流れ出ている。今後の下水

道計画と合わせ対策が望まれる。また、下水道がゴミ捨て代わりに使われていると聞くが実情は。

答 雨水流入時の処理能力に問題がある。合流式地区の対策や、今後の計画地区について、今年度より見直しに入りたい。また、下水道に想定しないような異物が流れこくる。市報等で適正な使い方を広報していく。



秩父市下水道センター

- ◎運動公園の管理について
- ◎災害復旧工事が遅いのは
- ◎職員の意識改革について

いっぱんしつもん

小児科診療の現況について

日本共産党秩父市議団 出浦章恵

問 市立病院の小児科常勤医師確保の進捗状況は。

答 昨年12月に2人の医師が退職し、本年1月から3月までは、パート医師による平日3日間の診察を行っていた。大学病院や関係機関に何度も足を運びお願いして、4月1日から1人の常勤医師を確保できた。また、大学の医局から小児科医師の派遣を週5日お願いできた。現在、平日の午前中医師2人体制で、また毎月第1火曜日の午後、第2・第4の木曜日の午後は専門疾患の診察を行っている。

問 入院患者への対応は。
答 現在は常勤医師が1人のため、夜間休日等の非常呼び出しに対応できる範囲内での、短期間の入院受入体制は行っているが、重症の場合や長期間の入院を必要とする場合は、大学病院等へ紹介をしている。大学病院からの派遣医師は、曜日ごとに替わるため、特に小児の患者との信頼関係を保つには、継続的に診察できる常勤医師の対応が望ましいと考える。小児科医が全国的に不足する中で、その確保は厳しい状況にあるが、入院対応も可能となるように常勤医師の

確保に努めていきたい。



● 乳癌検診・子宮癌検診について

問 手術後に起こるリンパ浮腫治療への保険適用は。

答 弾性スリーブ・弾性ストッキングは、厚生労働省から通達があり、本年4月から保険適用の対象と認められた。

問 補整下着は保険適用になるか。
答 現在は法律に基づき保険適用外である。

人間ドック補助制度の復活を
後期高齢者医療制度について

日本共産党秩父市議団 斎藤捷栄

問 75歳以上の者は、新たな「後期高齢者医療制度」に移行させられたことにより、人間ドックの補助が受けられなくなった。市独自の補助制度についてどう考えているか。また、現在の補助制度でも国民健康保険以外の方で、健康保険組合に補助制度のない場合に補助している制度を準用することにより、補助できるのではないか。

答 後期高齢者医療保険に移行した方については、国民健康保険からの人間ドック助成ができなくなつた。

秩父市としては「元気長寿のまちづくり」政策の推進のため、独自の人間ドック補助制度を検討中である。指摘をいただいた制度の準用を含め、早急に検討を進め、9月議会には新たな独自補助制度を提案できるよう進める。

問 人道的見地からも保険証の取り上げは行うべきでないと思うが、市としてどう考えているか。

答 実施主体は広域連合で、具体的な運用については現在検討中。

問 介護保険関連だが、最近行った「生活機能評価チェックリスト調査」の目的と活用方法は。

答 介護保険1号被保険者のうち介護認定を受けていない方を対象に、国の定めた様式により生活機能の状態を確認するための調査で、その結果により生活機能の衰えが推定される方に、生活機能検査を受診していただき、近い将来介護が必要になるおそれのある特定高齢者を把握し、介護予防事業への参加をお願いするために実施した。



問診風景

◎市長の政治姿勢について

いっぱんしつもん

「理科おもしろ実験教室」の開催

無会派 新井重一郎



理科おもしろ実験教室

問 昨年同様、本年も東京理科大の教員、大学院生の協力で夏休み中に高学年の小学生を対象に「理科実験教室」を開催する。各方面の皆様の御協力をお願いしたい。

答 新学習指導要領でも理数教育の充実が強調されている。大学の協力により開催できるように教育委員会も積極的に応援する。

の補助が出る。

●生活習慣病予防（メタボ健診）

問 特定健診、保険指導の受診率を上げるための具体的取り組みは。

答 メタボ及びその予備群と診断された人々を対象に症状を三段階に分けて無料で特定保険指導を行う。

問 メタボ予防の手軽で安価な対策は「気軽に歩くこと」。そのために歩道と夜間の街灯の整備が必要。その対策は。

答 現在歩道整備を進めている。街灯の増数は、町会からの設置申請により対応する。

●自殺対策について

問 ①年間約3万人、一日平均80〜90人が何らかの理由で自殺している。当市の現状は。②悩んだときの相談窓口の現状は。

答 ①年間約20人程度で推移。②内容に応じた相談窓口多数開設。

◎後期高齢者医療制度と共に始まった「高齢者担当医」制度について。

問 ①今年度から75歳以上の人間ドッグ費用に国保からの補助がなくなる。どう対応するか。②35〜74歳に対してはどうなるか。

答 ①当市独自の新方式を検討中。②は今まで通り年一回2万8千円

燃料高騰について

市民クラブ 笠原宏平



問 燃料の急激な価格高騰対策は。

答 市職員が外出するときは、徒歩・自転車にしている。出張等長距離使用の際は、ハイブリッド車等低燃費車を使用し燃料費の削減を図っている。

問 車両の整備管理は。

答 本庁管理の車両は142台、消防管理48台、整備管理者1名、安全管理者11名を選任して、車両及び運転者の安全運転管理を行っている。古い車両では、19年間使用しているもので、費用対効果を考え財務部・管財課で慎重に協議し、買い替えを検討している。基本的な考えとして車両台数は増やさないとしている。

●ホンダ寄居小川新工場

問 ミューズパークにホンダのモビリティアイランド施設を誘致してはどうか。

答 ホンダ社員の方々に適地、モビリティの考え方を聞きながら、誘致を視野に入れながら研究していく。

●滝沢園地マウンテンバイク推進について

問 事業主体は何処になるのか。

答 設置は秩父市が主体で行う。運営は地域のNPO・公共団体・ノウハウを持った団体等を考えている。世界大会が開催可能なコースが出来るよう研究する。

問 事業開始はいつになるのか。

答 大滝地域の活性と若者の活躍できる場所として来年春のオープンを目指して整備を進める予定。

問 滝沢園地センター棟をマウンテンバイク入場者が利用できるか。

答 景色を見に来る人々とマウンテンバイクの人々がそれを共有できるような考え。

いっぱんしつもん

公衆トイレの非常ベルについて

日本共産党秩父市議団 新井康一

問 きれいな公衆トイレが増えてきたが、障害者用トイレに付いている非常ベルはどこかに通報が行くようになってきているのか。

答 市内に非常ベル設置の多目的トイレは48か所。通報体制は無い。緊急連絡先を掲示したい。

問 ベル音に気付き駆けつけても音の止め方がわからないが。

答 今後対応を検討したい。

問 通報体制の確立についてどのように考えているのか。

答 関係機関と協議しながら危機管理体制を検討したい。

●貝で浦山ダム湖の浄化と観光を

問 濁水対策で20億円もかけた清水パイパスは昨年の台風で取水口付近に土砂が堆積して取水不能となり、応急処置で対応。また大雨で増水すると機能しなくなると予測されるが、今後の対応は。

答 当面は、状況を監視しつつ調査検討をするという。

問 イケチヨウガイという淡水の2枚貝は1個が1日に2百リットルの水を浄化する能力があるとい、これで水質浄化に取り組んで

いる所もある。また、淡水真珠の母貝ということでも知られている。この貝を使って、水源地域の濁水浄化のイメージアップPRと「秩父ブランド」の淡水真珠を観光資源にしてはどうか。その可能性と法的問題は。



浦山ダム

◎公会堂等の水道を無料に

市長の政治倫理条例の制定について

自由民政クラブ 中村義一

問 市長のオーナー会社である、昭和工業(株)の所得隠しの問題にかんがみ、市および市に關係する第3セクターも含め、請負契約、業務の委託、物品の購入契約等に、市長、その配偶者、もしくは2親

等以内の親族が役員をしている法人または、市長が実質的に経営に携わる法人は、地方自治法142条の規定の趣旨を尊重し、市と、

もしくは、市の出資法人との間の工事、製造その他の請負契約、業務の委託契約または、これらの契約の下請けに関する契約を締結してはならない、という内容を含んだ、市長政治倫理条例の制定をすべきだと思うが市長の考えを問う。

答 その方向で年度内を目途に検討したい。

●第3セクターの見直しについて

問 第3セクターの経営業務、業務委託の状況、事業の必要性と効率性、市の関与、第3セクターのあり方、職員の転籍、人事の適正化等についてその取組みを問う。

答 経営業務のあり方については、総務省の第3セクター見直し指針

に基づき議会に報告する。業務委託については、公民協調を推進する事業を中心に市民への情報提供を進め、透明性を高めたいと考えている。

また、各団体の役職員の選任については、業務に精通した職員OBを登用している。

職員の転籍については、柔軟に対応出来るように検討したい。



秩父観光機構が運営している道の駅ちちぶ